

「英検福生モデル」: 福生市立学校における英検の公費実施について

「福生市英語教育推進計画（平成 28 年 3 月）」に基づく「英検福生モデル」の実施

国の動向

○学校の授業における英語力評価及び
入学者選抜における英語の資格・検定
試験の活用を促進

（「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の
活用促進に関する行動指針」 平成 27 年 3 月 17 日）

○生徒の着実な英語力向上を目指し、国
及び県で明確な達成目標を設定：

「中学校卒業段階で英検 3 級程度以
上 50% を達成（第 2 期教育振興基本計画）」

（「生徒の英語力向上プラン」 平成 27 年 6 月 5 日）

導入の意義

国際色の豊かな本市においては、子ども
たちにコミュニケーション能力を育成
することは重要な教育課題である。英検
は子どもたちの英語によるコミュニケ
ーション能力の見える指標となり、英
語を学ぶ動機付けにつながる。これら
のことから本市において「英検福生モデ
ル」を導入するものである。

○実用英語技能検定（英検）は…

- ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4
技能を的確にバランスよく測定
- ・初歩段階から、幅広い分野で通用
する段階までの 7 つの級を設定
- ・高等学校入試優遇校多数

「英検福生モデル」

○英検の公費による受験

対 象	受験級
中学校第 3 学年全生徒	3 級
小学校第 6 学年全児童	5 級

中学生：平成 28 年度より完全実施

小学生：平成 28・29 年度は移行期間。希望者のみ受験。

平成 30 年度より完全実施

3 級：身近な英語を理解し、また使用することができる。

5 級：初歩的な英語を理解することができ、またそれを使
って表現することができる。

○協会による無償教材の提供

(1) スタディギア（平成 27 年 9 月全校導入済）

英検 2 級～5 級の一次試験、二次試験対策

Web 学習プログラム

受験対象以外の学年においても英語授業及び自
宅学習で活用

(2) 英検 IBA (Institution Based Assessment)

（平成 28 年 7 月各校で実施）

英検を受験する前に取り組むことで、英検のどの
級を受験したらよいか、自分の実力が事前にわか
るテスト

○都英語教育推進リーダーの活用

東京都教育委員会配置の英語教育推進リーダ
ー 2 名による、小学校各校における「巡回英検
準備講座」を 9 月に開催

平成 28 年度の流れ

4 月 新学年へのスタディギア導入
5 月 小・中学校英検取得状況調査
（中学生 3 級以上取得者：61 名（15%）
小学生 5 級以上取得者：20 名（4.8%）
＜平成 28 年度 6 月実績＞）

7 月 各学校で英検 IBA 実施
→ 受験級の決定

10 月 7 日（金）

英検一次受験実施

（小・中全校実施 26 市初）

11 月 6 日（日）

英検二次（福生市特別会場を予定）

【予算について】

「英語教育推進事業」として、
「英検福生モデル」を 1,720,000 円
予算計上（平成 28 年度予算）

受験料 3 級：3,200 円、5 級：2,500 円

必要な受験料 ▲2,280,000 円

協会からの運営費補助 △ 248,750 円

実質負担 2,031,250 円

（小 6、中 3 とともに最大 400 人受験した場合）

＜想定受験者数＞

小 6：70 人（各校 10 人程度）

中 3：403 人（全員受験）

【到達目標】

小学校：受験率 20%

中学校：3 級以上取得率 30%